



いつしか輪も広がって

「針の会」



△オリジナルの弁当袋を制作中

子育ても終わり、自分の時間を有意義に過ごそうと、集まった何人かでおむつを縫い始めたのが10年前。古布を持ち寄り一針一針心を込めて縫ってきましたが、最近は紙おむつやリースに押されて、需要が少なくなってきました。

幸い、地域に幾つかの福祉施設ができ、活動の場も広がりました。駿河荘では清掃を初め、ひとり暮らしの老人へ給食をサービスする盛りつけや配達。また、市民ふれあいバンクでは、子供たちとの触れ合いを楽しみながらの活動も始まりました。初めごちゃごちゃしていた商品を並べる部屋も、みんなの力で片づき、今は、不用となっていたいただいたミシン、布、糸を使って「市民ふれあいバンクオリジナル製品」をつくろうと張り切っています。

共に学び・語らい・働くうちに、いつしか輪も広がって、仲間に出会えることも楽しみの一つになっています。

問い合わせ 保健婦人センター内

ボランティアセンター ☎64-7100

ことしは春の訪れが早く、桜の開花も早いとか。ところで、二月二十日発行、五百二十号の三ページに「鳥好きおじさん」が登場しましたが、名前の紹介を忘れてしまいました。おじさんの名前は、厚原にお住まいの遠藤英一さんです。遠藤さん、皆さんごめんなさい。

こちら編集室

富士の今と昔 ⑤8

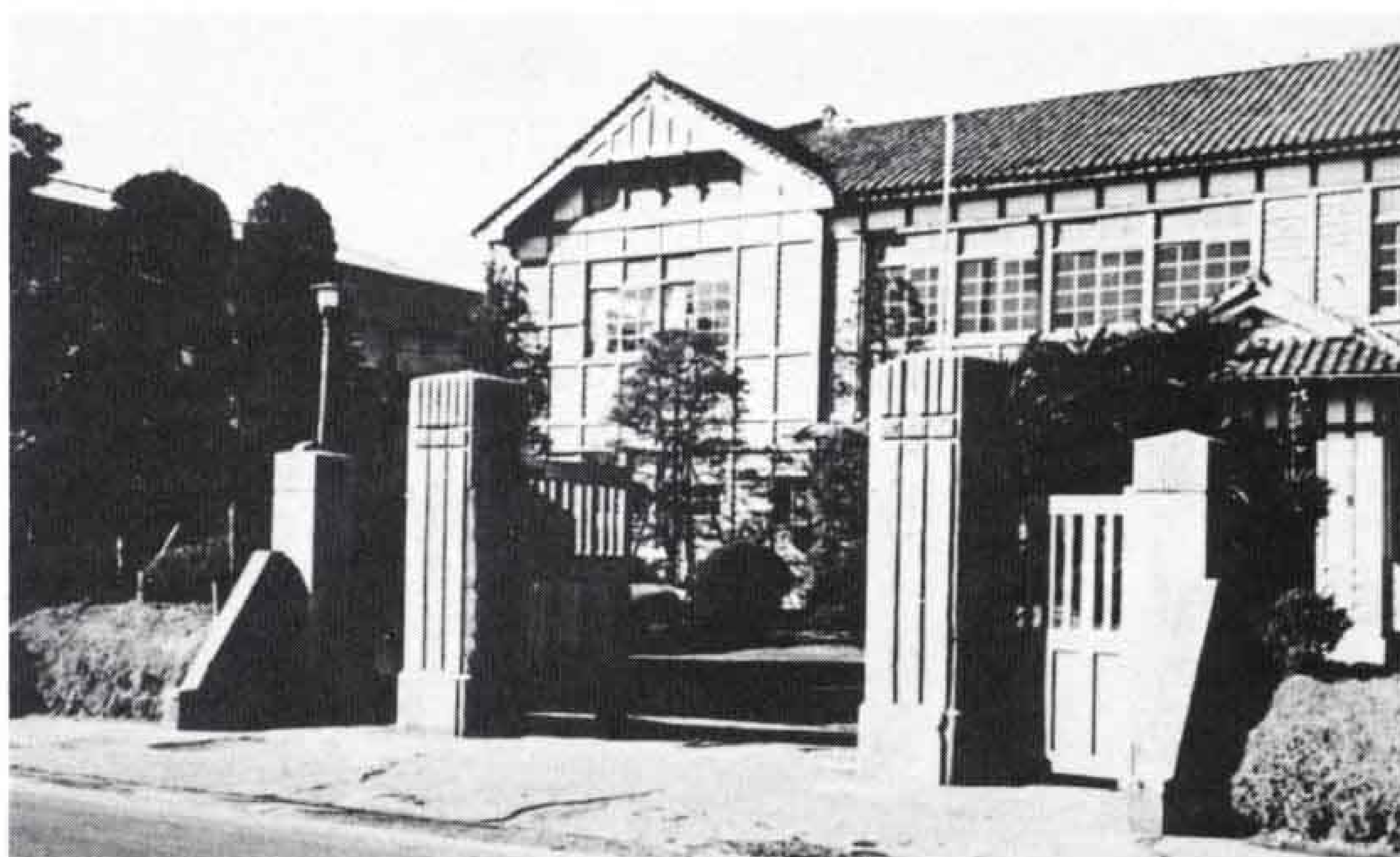


現在正門は南側に

昭和四十二年までであった富士高の旧正門です。この門のすぐ前に住み、この校舎で学んだ河野忠夫さん(本市場)のお話。「写真の二階は社会科の教室、一階には校長室がありましたね。当時のもので残っているのは、今の玄関に移されたソテツと中庭のヒマラヤスギぐらいかな。小学生のころはプールが珍しくて、隠れて泳ぎに行きました。見つかって追いかけるのも、遊びの一つでしたね」



昭和四十二年までであった富士高の旧正門です。この門のすぐ前に住み、この校舎で学んだ河野忠夫さん(本市場)のお話。「写真の二階は社会科の教室、一階には校長室がありましたね。当時のもので残っているのは、今の玄関に移されたソテツと中庭のヒマラヤスギぐらいかな。小学生のころはプールが珍しくて、隠れて泳ぎに行きました。見つかって追いかけるのも、遊びの一つでしたね」



昔

創立当初から昭和四十二年まで使われていました(正門は東側)



富士第二小学校のお友達が、みんなも知っている、楽しいお話の絵をかいてくれました。
どんなお話か、知っていますか。



わたしは、ゆきがふるのは、大すぎだよ。このあいだ、みぞれがふったからうれしかった。かみかみのりのえをかいたんだけど、ほんとは、かみなりってきらいだよ。



ありたなつこ



つよそうに、かけたらいいな。そうおもって、かいたよ。
でえだらぼっちが、力もちに見るように、わたしも力をいれてぬったから、とてもつかれたよ。



いでゆきな